



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2006.4.1
NO.10

1. ガバナーメッセージ 1
2. ロータリーの「職業倫理」について思う 2
3. 国際協議会の報告 3～4
4. R I 研修リーダーとして 2006 年国際協議会に参加して 5～11
5. ガバナー補佐として感じたこと
 - I M 3 組ガバナー補佐 村田 昌之 (和歌山東 R C) 12
 - I M 3 組ガバナー補佐 奥村 博志 (和歌山東南 R C) 13
 - I M 7 組ガバナー補佐 萬野 俊史 (忠岡 R C) 14
 - I M 7 組ガバナー補佐 檉本 主税 (大阪金剛 R C) 15
6. 新入会員紹介 16
7. 訃報 17
8. ポールハリスフェロー・米山功労者 (2 月分) 17～19
9. ポリオ・プラス・パートナー (P P P) について 19
10. 出席報告 (2 月分) 20
11. 4 月行事予定表 21



〒640-8215 和歌山市橋丁 2 3 サイバーリンクス N - 4 ビル 2F
国際ロータリー第 2640 地区 ガバナー事務所
T E L (073) 4 2 8 - 2 6 4 0
F A X (073) 4 2 8 - 2 6 4 3
E - m a i l info@rid2640g.org
U R L <http://www.rid2640g.org/hirao/>

ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2640地区
ガバナー 平尾 寧章

会長様・幹事様お元気でご活躍のことと存じます。

10日ほど前より、適当に雨が降り、スギ花粉が飛び散っています。私自身スギアレルギーを持っていますので、すぐにわかります。

目がクシャクシャし鼻水・全身倦怠感等がございます。人によっては、めまい・顔面の皮膚炎・胃腸障害等もあります。

桜の便りが待ち遠しいこの頃です。

3月17日にはGSE (group study exchange) チームが米国シカゴの6440地区より Gordon C. Schrubbe さんを団長として3人の女性の団員と共に来日致しました。

私は昨年アナハイムの国際協議会で6440地区ガバナー Tadashi Enami さんと共にGSE委員長の Gordon さんにお会いした時はパストガバナーでもあり貫禄十分な Gordon さんに圧倒されました。諸事情もあり、GSE団長さんとして再会致しました。第一印象と違いにこやかで優しく、交換バッチまで付けて下さいました。3人の女性団員も明るく楽しい人柄です。2640地区の受入れの皆様と桜満開の中、きっと快適に滞在されると思います。

又、4月20日は当地区のGSEチームとしてシカゴ6440地区へ吉野惣太さん（堺泉ヶ丘RC）を団長として4人の高校の英語の先生が渡米します。

GSEのオリエンテーションに参加し良いチームだと感じました。

私がロータリーに入って5年目の親睦委員長の時に米国のGSEチームを海南東ロータリークラブが受けもち、夜間例会でGSEチームと会員の夫人を交えパーティーを致しました。

「This Land is Your Land」というアメリカのフォークソングを歌ったり、ディスコ音楽をかけて全員が踊りまくりました。最後に団長さんが「Nice Boy」と言って握手して下さい、親睦委員長として「ああ、よかった」とほっと致しました。

私も25年前は少年であったのです。3月18日より淡輪海洋センターにてRYLA (ライラ) (Rotary Youth Leadership Awards) が2泊3日で開催されました。14歳から30歳までの青少年で地区内の若い人々の資質を伸ばすことを目的としています。

第1日目に参加させて頂き、セミナー参加の若者とロータリアンと共に「未来は私たちのもの」という歌を覚えさらに、手話をしながら歌う研修をうけ、全員楽しく笑顔で手話をしながら歌いました。翌日、堺地区で手話合唱を披露して下さいました。1年かけてライラを企画して下さい、ライラ委員会、そしてIM8組の会員の皆様に感謝する共に若者を楽しく育てる、素晴らしいロータリーのプログラムを改めて認識致しました。

ロータリーの「職業倫理」について思う

パストガバナー 前田 孝道



ロータリーの根幹は Vocational Service 即ち職業奉仕にあります。

私達が健全に生きてゆくためには自然の恩恵と、多くの人々の働きが必要です。また過去からの物心両面にわたる遺産の恩恵なくして今の私達の暮らしはありません。

職業分類の原則はロータリーの基本的な特徴ですが、広範多岐にわたる職業の中には、極めて厳しい生存競争を余儀なくされるものもあり、また比較的緩やかなものもあります。それらの中であって全てのロータリアンに等しく求められるところは、社会生活において常に倫理規範を守ることです。職業は私達が生きてゆくための手段ではありますがそれは同時に、人々を生かす為の手段でもあります。

しかし今世の中を見回しますに、社会のいたるところで反道徳的な現象が蔓延しています。ともすれば人間は、自己の欲望に翻弄され、目先の快楽、卑近な目的達成の為に、為すべからざる事を為し、他を苦しめ、やがてはそれが跳ねかかってきて自己をも害うということに気が付きません。

また時々耳にすることですが、ロータリアンの中に「職業奉仕とは何のことかよく判らぬ」という人がいます。このような疑問を懐いたままで例会に出席してられる方々は大変不幸な人々と申すほかはありません。なんとなればロータリアンとしての一番大事なことが判っていらっしやらないからです。生きるために生業に従事する人は全て職業人です。全てのロータリアンは自己の職業を通じて社会に貢献しつつ、利潤を上げ、家族従業員を養い余剰利益の一部を社会に還元し、ロータリー財団へ、米山奨学会その他へ醸金して奉仕し、それらはやがて回りまわって世界平和の為に役立つと言うことです。

若し誰もが自己の利得のみを志向し、他を顧みないならば、此の世は殺伐として生きにくい弱肉強食の修羅の世界となりましょう。全ての人々が不幸の荒波に翻弄されながら生きる、さながら此の世の生きる地獄が出現することは必定です。

全ての人々が求めてやまぬ「幸せ」の為には、古来の聖賢が繰り返し述べてきた、人々が倫理規範を守り、あらゆる努力をすることが、自他を生かす働きであることを知らなければなりません。

ロータリアンたる私達は常に綱領の精神に立ち返り、ロータリーの「四つのテスト」に照らして自分の行動の規範を点検することが大切です。

創始者ポール・ハリスが、職業奉仕とは「各ロータリアンが各々の職業において最高の道徳的水準を保つことだ」と定義した意義を考え、私達ロータリアンはこれからも職業倫理の向上を計ってまいらねばなりません。

国際協議会の報告

ガバナーエレクト 三軒 久義

2月16日～23日に開催された2006年国際協議会出席のためガバナー、パストガバナーをはじめとして49名の皆様に見送られ、家内とともに2月15日に関西空港を飛び立ちました。ロスアンゼルスで成田空港からのガバナーエレクトと合流し、UCLAなどを観光して、翌日、バスでサンディエゴのマンチェスター・グランドハイアット・サンディエゴ(ホテル)へ到着しました。今年から国際協議会の会場がアナハイムからここサンディエゴに変わりましたが、ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)の王ジャパンの選手もこのホテルに泊まって優勝したのは、私たちの年度を祝福してくれているようで嬉しい限りです。ホテルに着くと、恐れ多くも、南園、重田両RI理事、渡辺RI理事エレクト、それに藤川SAA、成川、田中、関場RI研修リーダーが出迎えて下さったのには、ロータリーの友情を強く感じました。

2月17日に開会本会議が開かれ、ステンハマーRI会長の「開会宣言及び歓迎の辞」のあとロータリー加盟国の国旗入場式、スウェーデンとニュージーランドの国歌吹奏の後、RI会長エレクト・ボイド氏の「テーマ演説」があり、待ちに待った2006-2007年度RIテーマ「LEAD THE WAY」が発表され、盛大な拍手が鳴り止みませんでした。このテーマについてグループ討論が行われるわけです。英語が18室、フランス語が2室、日本語が2室、韓国語が1室、ポルトガル語が2室そしてスペイン語が2室と計27部屋に分かれ、私たち日本人は2部屋に分かれて討論しましたが、これが日本人のガバナーエレクト同志の親睦、親善になり、また日本の各地区の実情がよく分かり有益であったと思いました。この討論には地区の委員長やガバナー補佐を経験していたことが役に立ちました。なかには地区の代表幹事(幹事長と呼ぶ地区もあります)をした猛者も何人かいました。同じ日の第2回本会議は「2006-2007年度会長強調事項」についてステンハマー現RI会長が説明され、その後またグループ討論をするということの毎日でした。二日目からは本会議の前に各国のロータリーソング(英語の歌が殆ど)が歌われ、日本の歌としては、第9回本会議の前に「手に手つないで」を我々が壇上に昇って歌いました。

第3回本会議は「会員増加とクラブ・リーダーシップ・プラン」、第4回、第5回と第6回は「ロータリー財団」、第7回は「RI理事、事務局の紹介」、第8回は「青少年交換—成功物語」、第9回は「ロータリーの公共イメージはあなたから」のテーマでパネル討論が行われ、その夜「国際祭りの夕べ」という各国の踊りや歌などの出し物を1チーム3分で披露する催しがあり、皆さんストレスを発散させていました。日本からは例年と少し趣きを変えて「マツケン・サンバ」を賑やかに踊りました。第10回は「リーダーシップと意欲の源」と題したビチャイ・ラタ

クル元R I 会長の演説が皆を感動させました。その夜、「お別れ晩餐会と閉会本会議」が行われ、2007年ソルトレークシティ国際大会へのお誘いのあと、ボイド会長エレクトの「閉会の辞」、そして‘Auld Lang Syne(蛍の光)’を全員で合唱し、閉会の点鐘で無事、2006年国際協議会は終了しました。英会話が得意でないため、外国のエレクトとは友達になれませんでした。同じ釜の飯を食った34人の日本のガバナーエレクトとその奥様とは本当に親しくなれたことが、何よりの宝物でした。このような素晴らしい機会を与えて下さった第2640地区のロータリアンの皆様に心から御礼を申し上げます。



ボイド夫妻と



R I 研修リーダーとして 2006 年国際協議会に参加して

パストガバナー 成川 守彦

私は、2005、2006 年 R I 研修リーダーとして、2005、2006 年国際協議会に参加する機会を得ましたので、地区の皆様にご報告致します。

当 2640 地区では、1988 年、1990 年に中島治一郎 PDG が、1996 年に平岡正巳 PDG が研修リーダーをなされています。

< R I 研修リーダーとは >

その任務には、下記のものがあります。

① 国際協議会の研修リーダー

RI 研修リーダーというのは、「グループ討論リーダー」とも言われ、国際協議会において、本会議の講演テーマを各グループ別に討論する際の進行役です。決して先生役ではありません。Facilitator です。研修リーダーセミナーでは、How to facilitate を研修します。

② GETS (ガバナーエレクト研修セミナー) における研修リーダー

毎年 9 月と 11 月 (ロータリー・ゾーン研究会) の 2 回、夫々 1 日開催。
2006-07 年度は、9 月に 1 泊二日で開催予定。

③ 地区研修リーダーセミナーにおける研修リーダー

毎年 9 月と 11 月 (ロータリー・ゾーン研究会) の 2 回、夫々 1 日開催。
2006-07 年度は、11 月に 1 日開催予定。

④ 最近日本ではクラブ強化委員会委員として、日本の RI 理事の指導監督の下、「ロータリアン必携」「理想的なクラブの条件」「ロータリーでの感動体験」「4 分間情報」の執筆に携わる。

< 国際協議会の開催地 >

14 年間にわたってアメリカのカリフォルニア州、アナハイム・ヒルトンホテルで開催されてきた国際協議会が、今年から場所が変更され、アナハイムから南へ 150 キロほど南下したサンディエゴに移りました。会場はマンチェスターグランド・ハイアット・サンディエゴホテルです。風光明媚な軍港でもあるサンディエゴ湾に位置したアメリカ西海岸最大の敷地を誇る立派なホテルです。(写真)

近くに、航空母艦「Midway」が博物館として係留されています。(写真)



マンチェスターグランド・ハイアット・サンディエゴホテル



Midway Museum

<RI研修リーダーセミナー>

2006年2月10日から6日間、「RI研修リーダーセミナー」が行われ、世界から38名(うち女性9名)の研修リーダーが参加しました。(日本からは3名)

セミナーは朝8時から午後5時まで。その後1時間、研修リーダーがお金を出し合って借りたホテルのスイートルームでの親睦カクテルパーティが毎日開催され、その後夕食となります。





インド、韓国のリーダーと



日本のリーダー：関場、田中リーダー

机の前に座るのは、午後 10 時頃になり、それから翌日の準備の勉強。…毎晩 12 時、1 時まで。朝は、6 時起床。…睡眠時間は 5,6 時間。(1 年目の昨年は、4, 5 時間)

セミナー後半に、研修リーダーが二人倒れ、救急車で病院へ。その一人は同じグループで、プレゼンテーション中に突然倒れました。直ぐに日本の他の医師と診ましたが胸痛もなく、麻痺もなく、後部硬直も無かったので安心しました。しかし、研修前に研修リーダーの救急対応の訓練として、誰かが急病人の振りをするということも聞いておりましたので、一瞬「本当に病気」と思いました。この日まで、別の配偶者も二人が急病で病院へ運ばれましたので、その後の研修は 2 セッションカットされました。二人の研修リーダーは退院後本国に帰されました。昨年も一人帰されましたが、セミナー中は毎日睡眠時間が少なく、緊張が続き、プレゼンテーションでは指導者から好意的であるが辛辣な講評とアドバイスがあるハードなスケジュールです。

<国際協議会>

国際協議会は、2月16日から始まって、ロータリー101周年記念日の23日で終了しました。世界全地区からDGE530名が配偶者同伴で出席(1060名:欠席者も数名あり)、そして関係役員さん約400人、合計約1500名による年1回の協議会です。





研修リーダーは、朝7時30分からミーティングを兼ねた朝食会を持ちます。そして一日のプログラム終了後、スイートルームでの親睦カクテルパーティが毎日1時間開催され、その後夕食となります。

国際協議会のプログラムは、9時からと昼食をはさんで午後2時から全体本会議が毎日あり、全体本会議の後、本会議での講演について、各言語別にグループ討論会が連日合計14セッション行われます。日本は17人ずつの2グループに分かれてグループ討論会が行われました。日本の研修リーダーは3人交代で、夫々9から10セッションを担当します。終了は午後5時から5時半。

感銘深い講演や有益な情報や知識を得、親睦を図る会合で、ビッシリ勉強の日程ですが、18日に「国際親善晚餐舞踏会」、21日に「国際祭りの夕べ」、22日に「お別れ晚餐会と閉会本会議」など楽しい会合もあります。あっという間の7日間です。



英国研修リーダー：Allan Jagger 夫妻と



前R I会長：グレン・エステス夫妻と

国際親善晚餐舞踏会



国際祭りのタベ

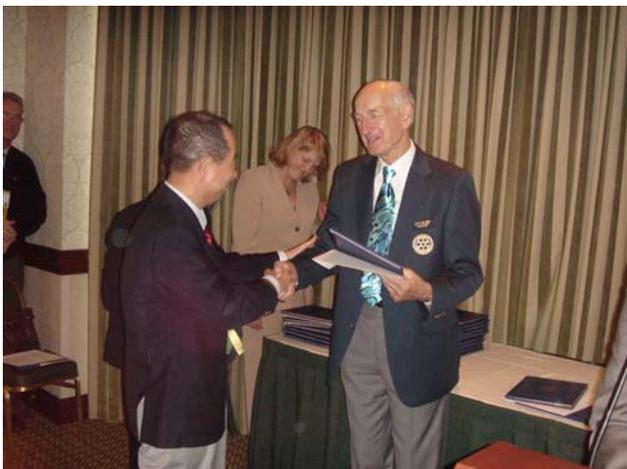
Moderator の Gerald A. Meigs 氏と

会場には、今年もまた「入って学び」「出でて奉仕せよ」という掲示板が立っていました。今年度の女性DGEは、49名でした。日本からは来年、初の女性DGEが参加するようです。RIテーマや内容は、PETS、地区協議会でお聞きのことと存じますので省略します。会員数約10万人の日本に迫っているのは約9万人のインド、そして約5万人の韓国です。最近の発表では中国の2つの仮クラブ、北京RCと上海RCの正式加盟が決まりました。

2006-07 年度から、ロシア西部に第2220地区が創設され、世界の地区数は 530 地区になります。

<研修リーダー終了式>

閉会本会議の翌日、23 日に、William B. Boyd RI会長エレクトと Moderator の Gerald A. Meigs 氏から、Certificate of Recognition と記念品を頂きました。(写真)



今年のチームは“Meigs’ Motivators”と名付けられ、ホスピタリティの世話役: Fredy & Conchita Compean 夫妻、Steve & Noko Yoshida 夫妻とSAA: Allan Jagger(英国の同期ガバナー: 昨年のセミナーから私の無二の親友となり、興が乗ると二人でパフォーマンスをした: 下記写真)のお世話のお陰で、楽しく充実したセミナーとなった。



Moderator 夫人の Jeanne は、涙を流して研修リーダーにお礼を述べてくれました。研修リーダーはお互いの健闘を称えあい、別れを惜しんで帰国の途に就きました。特に 2 年間の研修を共にした者は、感慨が一入でした。

<終わりに>

RI研修リーダーの任務は、暦年委任ですので、今年の 12 月に役目を終えます。今年は 9 月に初めての試みですが、私がリーダーとなり 1 泊二日のGETS(ガバナーエレクト研修セミナー)を開催します。



Certificate of Recognition

In recognition and sincere appreciation for your outstanding commitment as a Rotary International Training Leader during the 2006 International Assembly, 16-23 February, San Diego, California, U.S.A.

This certificate is presented to

Morihiko Narukawa

As a highly dedicated and knowledgeable member of Meigs' Motivators, you **Lead the Way** for governors-elect. Thank you for your excellent support.

A handwritten signature in blue ink, reading "Bill Boyd".

W.B. (Bill) Boyd
2006-07 President
Rotary International

A handwritten signature in blue ink, reading "Jerry Meigs".

Gerald A. Meigs
Moderator
2006 International Assembly



「ロータリーの活動は職業奉仕が原点 親睦を密にして出席率を高めよう」

IM3組ガバナー補佐 村田 昌之
(和歌山東RC)

早いもので今年度のガバナー補佐を仰せつかって8ヶ月になります。ただIM3組（奥村ガバナー補佐と2人で担当）は素晴らしいクラブばかりで、ロータリー活動がそれだけスムーズに進んでいることになりましょう。

私自身は尊敬するパストガバナーの方の職業奉仕の理念にふれる機会があつてからその中にどっぷり身を漬けてきました。金銭的な又、物質的な目的ではなく自分の職業を通じて他人の為に尽くす活動は必然的に職業奉仕となり、事業や職業の水準を高め、自分も含めて関係者が幸せになる。ありがたいことだと思います。

「V o c a t i o n」とはすなわち天職です。ですからロータリー活動は「天職への奉仕」なのだとおもいます。

IM3組で共通の話題は出席率の低下です。ロータリーの奉仕の機会が多種にわたるようになり、考え方も又多様になっていることは事実です。

言うまでもなく、ロータリーは最近まで一業一会員制をとってきました。唯一選ばれた者であり、そして例会出席義務によるいわゆるライバルのない異業種交流でした。

お互いに人間として研鑽を重ね豊かな心を育み思いやりの心を育ててきました。

このことはどんなに時代が変わっても失ってはなりません。

各クラブが知恵をしぼってほしいものです。



和歌山西RC公式訪問にて先輩の皆様と

ガバナー補佐雑感

I M 3 組ガバナー補佐 奥村 博志
(和歌山東南RC)



平成 17 年 1 月に前田パストガバナーと当時の角谷代表幹事から、次年度のガバナー補佐に就任するよう要請されました。

しかし、ロータリークラブに入会以来 25 年間皆出席というだけで、奉仕活動に熱心ではない私には非常な重責であると考え固辞いたしました。その後、数回にわたる説得があり、ロータリーにはノーはないということで、お引受しましたが、重責をひしひしと感じたというのが実感です。浅学非才な私が 9 ヶ月間まがりなりにも職責を果たすことができましたのは、本当に皆様の暖かい励ましと、ご協力の賜物であると感謝しています。

関係クラブのクラブ協議会等に出席させて頂いて非常に勉強になり、また感激を新にいたしました。

今後のロータリークラブのあり方について、私見を交えながら思うところを述べてみたいと思います。

*ロータリークラブの 4 大奉仕は、会員相互の親睦から始まると考えています。そのためにはいかに楽しい例会を開催するかが重要になってきます。SAA とプログラム委員会の知恵のだしどころです。楽しい雰囲気、ためになる卓話が会員をひきつけます。

卓話については、新入会員にはできる限り卓話の機会を与えてクラブの皆様にも人柄や考え方を理解してもらいたいものです。時には、予算をオーバーしてでも有名人を招いて家族ともども聞く機会を与えることも推奨します。

*会員増強はクラブの組織強化のためにも重要なことです。新入会員を勧誘することも大切ですが、時節柄なかなか困難ですので、まず退会防止に努めましょう。大会の理由は、様々ですが最も多い理由はロータリーに興味を失って退会する方が最も多いと思います。ロータリーに興味をもっていただくためには、毎例会のはじめに情報・規定委員会が中心になってロータリーのあらゆる情報を提供することです。毎月第 1 例会に、雑誌委員会が「ロータリーの友」の抜粋を紹介するのも意義があります。新入会には 1 年間専属のカウンセラーをつけることと、入会 3 年未満の会員にはクラブのあらゆる行事に参加させることもロータリーを知ってもらうためには大切です。

つたない私を支えていただき、ご協力を賜った関係クラブの会長をはじめ会員の皆様に感謝申し上げますとともに、残された期間をガバナー補佐としての責務を果たすべく尽力したいと考えていますので、よろしくお願い致します。

スッテン・コロリン

IM7組ガバナー補佐 萬野 俊史
(忠岡RC)



山が好きです。登山とまではいかないけれど、一人で「中村元の仏教講座」や、「小椋桂」を聞きながら、あれこれ考え歩くのが好きです。

バブルの平成元年、父親が亡くなり、勤めていた監査法人を辞め、会計事務所を独立開業した時、ちょうど忠岡ロータリークラブの設立があり、ある人の奨めで入会。創立総会の当日が親父の葬式の日で欠席。なにか因縁めいたものを感じながら17年間続けてきた。今まで、会長、幹事は経験したものの、これとってロータリーでなにをしたかという誇れるものがない。

今回なりゆきで、ガバナー補佐を引受けて、改めてロータリーのことを考えました。

職業奉仕。昨今、カネボウ、ライブドア問題で公認会計士のプロとしての職業専門家のモラルが問われ、会計士協会の研修会でもやたらと「職業倫理」の講習が多い。ロータリーの綱領でもロータリアンが各自の業務を通じて社会に奉仕するため、専門職務の道徳的水準を高めること、とあり、会議でもくどいほど繰り返し言われている。経済優先の社会の中で、何かこういう「倫理的・道徳的」なことを心の底で軽視してきたのではないだろうか。私自身も「赤心」に帰り反省が必要なんだなあ。

スッテン・コロリン。雪道で転んで右手手首を捻挫。確定申告の繁忙期を控え仕事にならない。まだまだ、自覚が足りないのだろう。

補佐になって、担当クラブを回って勉強させて頂いたり、いろんな委員会に出席でき、まだまだロータリーを続けて勉強しろということか。



大役を引き受けて、そしてCLPとの出会い

IM7組ガバナー補佐 榎本 主税
(大阪金剛RC)



平尾Gはじめ地区の皆様の温かいご指導と担当させて頂いた高石・高師浜・羽衣・大阪金剛RCの皆様のご力強い励ましと友情に支えられて、私にとっては過大な任務を遂行しているところです。

さて、今年度最大の関心事は、早々にCLPの問題が急浮上してきたことでした。早速、昨年10月の地区大会第1日目のパネル・ディスカッションのテーマにも挙げられ地区会員の関心も一段と高まりました。前窪PGの巧みなコーディネートのもと3人のパネリストとして短期間によく勉強された岡本勝士AGと川村克人有田RC会長の両氏にも私もパネラーの一角を汚すこととなり、わが勉強することになりました。急遽ロータリー100年の歴史を返りますと、これまでに何度か崩壊の危機を迎えた時期があり、その都度先人達の知恵で乗り越え今日のロータリーの発展に至っていることが解りました。第二次世界大戦という特別な事態は別にして、数度にわたりロータリーの危機存亡を招いた主な原因は、ロータリーの目的は思いやりの心の普及運動であり、自己の職業倫理の向上を目指した所謂自己研鑽にあるという「理論派」と奉仕の実践こそがロータリーの目的であるとする「実践派」の真っ向対決でありました。この両派のバランスをとりながらロータリーはその都度変化し発展してきたと思われまいます。言い換えれば天秤の両方に重りを足しながらバランスを調整している様にもみえます。しかし重りが多くなればなるほどバランスが崩れたときの反動は大きくなることは容易に予測されます。

この度のRIが提案したCLPの狙いには、とくに最近の日米におけるロータリー会員の激減により機能低下と弱体化したクラブをいかに活性化させるかという手段としては効果的かも知れませんが、いかにも実践派を重視したきらいがあり、ロータリーを一つの人生哲学と考えている理論派のロータリアンには素直に受け入れ難いものがあり紛争の火種に成りかねないと思われまいます。実践派の暴走を許すまいと、取り越し苦労かもしれませんが、当日のパネル・ディスカッションではCLPの考えに反対の立場をとりました。これが正しい判断だったかはいまだに解りません。

残りの貴重な期間は、担当クラブをもう一巡して自己研鑽に努め、与えられた任務に感謝しつつ「超我の奉仕」のテーマを振り返ってみる良い機会にしたいと思っています。

新入会員紹介

2 月



おおぬま いくお
大沼 郁夫
 所属クラブ：橋本紀ノ川RC
 職業分類：工業材料配布
 生年月日：1944年2月14日



かとう きよひさ
加藤 清久
 所属クラブ：松原RC
 職業分類：金属加工
 生年月日：1950年8月6日



やだ さえこ
矢田 冴子
 所属クラブ：堺RC
 職業分類：茶道
 生年月日：1933年1月1日



たかはし けいこ
高橋 恵子
 所属クラブ：堺RC
 職業分類：生命保険
 生年月日：1956年5月30日



ひかわ まさつぐ
樋川 政次
 所属クラブ：堺清陵RC
 職業分類：官公庁上下水道
 生年月日：1948年9月28日



てらまえ ひろあき
寺前 裕章
 所属クラブ：白浜RC
 職業分類：保険代理店
 生年月日：1959年1月3日



きのした いくお
木下 幾雄
 所属クラブ：田辺RC
 職業分類：農業
 生年月日：1937年8月20日



ふるたに のりこ
古谷 典子
 所属クラブ：田辺RC
 職業分類：司会業
 生年月日：1965年3月25日



たにぐち ようこ
谷口 洋子
 所属クラブ：田辺RC
 職業分類：広告企画制作業
 生年月日：1958年11月30日



のい かずしげ
野井 和重
 所属クラブ：和歌山RC
 職業分類：電気設備工事
 生年月日：1964年7月5日



訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



たにぐち やすひろ
谷口 康浩様 (羽衣RC)

2006年2月19日死去
 在籍期間：5年11ヶ月
 職業分類：造園土木
 ポールハリスフェロー ポールハリスフェロー
 米山功労者 米山功労者
 生年月日：1965年9月21日



とうすじ ひろふみ
塔筋 博文様 (名誉会員) (貝塚RC)

2006年2月24日死去
 在籍期間 42年 (チャーターメンバー)
 職業分類：名誉会員
 ポールハリスフェロー ポールハリスフェロー
 米山功労者 米山功労者
 生年月日：1918年3月19日

PHF・ベネファクター (2月分)

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
福原 健三	1	御坊	泊 佳秀	2	粉河
古久保 恭一	3	御坊	矢倉 真弓	1	串本
原 均	2	御坊	武内 宗隆	2	那智勝浦
北野 兼	2	御坊	堀越 勲男	1	堺北西
中野 賢一	3	御坊	森崎 勝		堺北西
瀬戸 新一	6	御坊	原 明敏	1	堺北
塩路 信人		御坊	松岡 一郎	1	堺北

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
山田 昌子	1	御坊	白木 勝巳	2	堺北
魚谷 晴夫		羽衣	山中 喜八郎	1	堺北
平岡 正巳	12	羽衣	速水 喜彦	BE	堺北
山條 康次	2	羽衣	竹内 良夫		堺北
山中 安左子	2	羽衣	田中 朝彦	3	堺北
西平 邦彦	2	岩出	川畑 美奈子	1	堺おおいずみ
芝田 豊和		岩出	木久 和則	1	堺おおいずみ
中 透	2	泉大津	藤田 茂信	3	高石
嶋田 繁	2	泉大津	北口 正文	3	高石
谷口 定之		関西国際空港	大友 淳男		田辺東
芦田 雄太郎	1	関西国際空港	柏井 健作	3	打田
西端 弘明	3	河内長野	島 和代	1	和歌山アゼリア
濱田 郁子		河内長野	瀧本 スミ代	2	和歌山アゼリア
西野 敏隆	1	河内長野東	山野 武彦		和歌山東
奥野 武生	2	岸和田北	中山 恒夫	1	和歌山東
白井 壽晃	BE	岸和田北	山本 進三	2	和歌山東
大伴 弘昭		岸和田南	赤土 洋一	1	和歌山中
東 秀樹	2	粉河	井関 良夫	7	和歌山中
稲田 喜久	2	粉河	楠本 聖二	1	和歌山東南
岩田 敏伸	2	粉河	松浦 薫		和歌山東南
松岡 博之	1	粉河	奥村 智子		和歌山東南
野崎 丞	2	粉河			

数字はマルチプルの回数 BEはベネファクター

米 山 功 労 者（2月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
榎本 善夫	4	泉大津	木下 真人	4	新宮
覚野 博夫	7	岸和田	泉 房次朗	2	田辺東
福田 資人	2	松原	澤本 栄子	2	和歌山アゼリア
奥田 政典	4	松原	辻 曙生	2	和歌山アゼリア
久本 新	4	大阪金剛	楠山 繁	4	和歌山南
松岡 晋	6	堺西	釜中 甫干	10	和歌山東南
松本 政彦	1	御坊東	山口 幸也	3	和歌山東南
矢倉 貞	5	串本			

ポリオ・プラス・パートナー（PPP）について

PPP第3ゾーンコーディネーター 空地啓一様(RI2680PG)と
 PPPタスクフォース委員長補佐 今井鎮雄様(RI2680PG)より、春にナイジェリアを中心に行うポリオ撲滅のために各地区で余っているDDF(地区財団活動資金)をポリオ・プラス・パートナーのプログラムにまわしてもらえないかとの要請がありました。

パストガバナーの皆様にご相談して2640地区では財団寄付は3年後に何に使うかを明らかにして集めていて、現在の保有のDDFを勝手に使えませんが、もう少し具体的な要請をお願いしていました。

再度、RI理事・財団管理委員より、ワクチンの費用はポリオ・プラス基金から支出できますが、予防接種のポスター・保存用の冷蔵庫、現場に必要なメガホンなどの NIDs(全国予防接種日)実施のために不可欠な必需品を購入するためにはポリオ・プラス・パートナーからの援助が必要なのでお願いしたいとのことでした。

カトリーナーハリケーン・パキスタン大地震で多額の義援金をご寄付頂いた直後でもあり、地区会員にお願いするのは無理と考えWCS(世界社会奉仕)委員会と諮問委員会で討議して頂き、WCSファンドより当地区として5000ドルを拠出することになりました。

よろしくご了承をお願い致します。

第2640地区 出席報告 (2006年2月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	2月出席率	平均出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	2月出席率	平均出席率
	05.7.1	2月末	2月	累計	2月	累計					05.7.1	2月末	2月	累計	2月	累計			
有田	41	41	0	0	0	0	4	90.32	90.29	大阪狭山	6	6	0	0	0	0	4	80.00	89.22
有田南	43	43	0	0	0	0	4	88.16	91.72	りんくう泉佐野	31	30	0	0	0	1	4	77.30	79.84
有田2000	22	21	0	0	0	1	4	82.14	82.71	堺	78	81	2	4	0	1	4	95.00	94.81
藤井寺	12	12	0	0	0	0	4	89.55	87.15	堺東	32	32	0	0	0	0	4	98.21	97.83
藤井寺しゅら	17	17	0	0	0	0	4	92.20	91.00	堺北西	19	21	0	2	0	0	4	82.35	81.28
御坊	60	62	0	2	0	0	4	89.10	89.60	堺泉ヶ丘	26	26	0	1	0	1	4	87.50	89.05
御坊東	21	20	0	0	0	1	4	83.75	86.71	堺北	42	44	0	4	0	2	4	74.22	87.27
御坊南	33	36	0	4	0	1	4	78.68	86.75	堺南	44	40	0	0	0	4	4	88.59	86.28
羽曳野	31	32	0	1	0	0	4	90.35	94.21	堺中	34	33	0	1	2	2	4	73.27	69.57
羽衣	25	26	0	3	1	2	4	83.46	87.68	堺南西	5	4	0	0	0	1	5	100	90.00
阪南	22	21	0	1	0	2	4	77.38	70.02	堺西	25	26	0	1	0	0	4	84.21	94.86
橋本	48	54	0	7	0	1	4	87.00	87.32	堺おおいずみ	36	37	0	1	0	0	4	96.94	97.04
橋本紀ノ川	22	24	1	2	0	0	4	96.50	95.60	堺フェニクス	27	26	0	0	0	1	4	79.16	79.76
岩出	31	30	0	0	0	1	4	88.80	90.70	堺清陵	24	24	1	1	0	1	4	98.86	98.28
和泉	37	38	0	1	0	0	4	89.52	89.68	堺泉北	24	23	0	2	0	3	4	86.54	86.65
和泉南	40	38	0	0	0	2	4	63.51	69.87	堺東南	15	15	0	0	0	0	4	95.45	94.98
泉大津	51	53	0	3	0	1	4	79.91	83.16	泉南	23	23	0	1	0	1	4	80.95	81.00
泉佐野	37	39	0	2	0	0	4	87.07	89.41	新宮	62	64	0	2	0	0	4	86.63	85.05
海南	51	51	0	1	0	1	4	84.40	90.21	白浜	16	17	1	2	0	1	4	81.67	93.30
海南東	68	74	0	7	0	1	4	80.21	85.95	忠岡	16	16	0	0	0	0	4	76.60	73.34
海南西	25	25	0	0	0	0	4	89.00	85.61	太子	7	8	0	1	0	0	4	42.85	46.66
貝塚	23	22	0	0	0	1	4	93.18	95.58	高石	34	36	0	2	0	0	4	69.23	74.65
貝塚コスモス	22	22	0	0	0	0	5	93.68	93.70	高師浜	21	23	0	4	0	2	4	83.70	88.72
関西国際空港	41	41	0	1	0	1	4	66.67	66.05	田辺	79	88	3	11	0	2	4	89.93	89.91
河内長野	33	31	0	1	0	3	4	77.00	76.70	田辺はまゆう	33	34	0	3	0	2	4	69.70	83.87
河内長野東	26	28	0	2	0	0	4	83.69	90.38	田辺東	49	49	0	0	0	0	4	86.62	95.76
岸和田	60	59	0	1	0	2	4	87.74	87.72	富田林	37	35	0	0	0	2	4	77.00	77.79
岸和田東	70	68	0	1	0	3	3	90.23	91.86	富田林南	23	23	0	0	0	0	4	85.53	87.98
岸和田北	35	33	0	0	0	2	4	95.00	95.64	打田	12	13	0	1	0	0	4	98.08	96.39
岸和田南	25	22	0	0	0	3	4	88.63	89.11	和歌山	67	71	1	10	0	6	4	88.99	90.37
粉河	38	38	0	0	0	0	4	83.11	86.11	和歌山アゼリア	44	48	0	4	0	0	4	77.12	84.34
高野山	26	26	0	0	0	0	4	86.50	91.36	和歌山東	62	62	0	5	1	5	4	92.00	92.35
串本	10	10	0	0	0	0	4	72.50	69.38	和歌山城南	44	43	0	0	0	1	4	85.53	86.16
松原	49	48	1	1	0	2	4	86.00	88.65	和歌山北	55	53	0	2	0	4	3	78.72	71.11
松原中	28	29	0	2	1	1	4	80.27	85.88	和歌山南	93	93	0	2	0	2	4	77.88	81.25
美原	27	27	0	1	0	1	4	88.70	86.10	和歌山中	36	36	0	1	0	1	4	85.35	90.87
那智勝浦	19	23	0	5	0	1	4	82.50	73.51	和歌山西	29	26	0	1	0	4	4	95.65	93.43
大阪金剛	38	35	0	2	0	5	4	83.30	82.70	和歌山東南	38	36	0	0	0	2	4	88.64	88.66

クラブ	7月1日クラブ会員数				2月末クラブ会員数				2月平均出席率	入会		退会	
	男性	2520	女性	135	男性	2550	女性	134		2月	累計	2月	累計
76	2655				2684				85.68	10	120	5	91

4 月 雑誌月間

1日	(土)		
2日	(日)		
3日	(月)		
4日	(火)		
5日	(水)	新宮RC50周年記念式典	新宮市訓練センター
6日	(木)	大阪狭山RC25周年記念式典	雪陵庵
7日	(金)	和歌山東南RC創立35周年記念式典・例会(4/7~/8) 堺中RC創立15周年記念例会(4/7~/9)	京都ホテルオークラ 鹿児島県名瀬
8日	(土)	第2回クラブ青少年交換委員長会議	和歌山JAビル
9日	(日)		
10日	(月)		
11日	(火)	国際ロータリー第6440地区GSEチームさよならパーティー	アバローム紀の国
12日	(水)	国際ロータリー第6440地区GSEチーム帰国(UA878 5:55 発)	
13日	(木)		
14日	(金)	高野山RC創立20周年記念式典	高野山 恵光院
15日	(土)		
16日	(日)	藤井寺しゅらRC創立10周年記念式典・例会 ローターアクト新旧合同エレクト研修会	未定
17日	(月)		
18日	(火)		
19日	(水)		
20日	(木)	GSE派遣チーム出発(UA878 5:55 発)	
21日	(金)		
22日	(土)	和歌山南RC創立45周年記念例会	グランヴィア
23日	(日)	インターアクトリーダーシップフォーラム(ホストIAC:高野山、清風南海) 2006-2007 年度地区協議会	全日空ゲートタワーホテル
24日	(月)		
25日	(火)		
26日	(水)		
27日	(木)		
28日	(金)		
29日	(土)		
30日	(日)	新規米山カウンセラー研修会 新規米山奨学生オリエンテーション	和歌山YMCA6Fホール



国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所のご案内

〒640-8215 和歌山市橋丁 23 サイバーリンクス N-4 ビル 2F

T E L (073) 428-2640

F A X (073) 428-2643

E-m a i l info@rid2640g.org

U R L <http://www.rid2640g.org/hirao/>

勤務時間 9:00~17:00 (土・日・祝日は休み)

S T A F F 代表幹事 楠部 賢計

事務職員 山本千恵子 平田有紀子